

就労支援準備室より





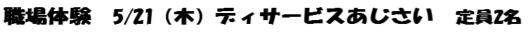
コミュニケーション講座 5/7 (木) 10:30~11:30

面接の模擬講座です。ワークを通してスキルを高めましょう!



キャリア講座 5/14(木)14:00~15:00 定員5名

仕事は何のためにするの?働く上で大切にしているものは? 犠牲にしたくないものは?楽しく講義をすすめます!



ディサービスあじさいで高齢者が自立した生活ができるよう お手伝いをします。車で送迎します。昼食代500円頂きます。



Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。



この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。対象でない方で利用希望の方は電話でご相談ください。

履歴書記入の注意点 No.1

応募書類は履歴書と職務経歴書の提出が一般的。採用担当者はまず履歴書を見ますので、アピールカのある内容に!

●写真は文字よりも強い印象を与えます! 本人の身代わりに最初に面接を受けると思ってください。乱れた 髪や疲れた表情にはご注意を!服装のNGは、柄物シャツ、エリ なしのセーターやシャツ等です。ラフで気軽な印象を与えるもの は避けましょう。男性はビジネススーツ、女性は紺や黒のジャ ケットに白いブラウスが基本です。清潔感・ 健康的・誠実さがでるように!

●履歴書では自分の情報を伝えるものです! 正確であることが大前提です。数字や固有名詞の間違いにはご注意を!学校名や会社名はもちろん、資格や検定は正式名称で、ランクの明示もお忘れなく。卒業年も間違いのないように!

求人情報ツールは・・!

ハローワーク、求人サイト、新聞折込、 転職フェア、転職情報誌、人脈、人材 紹介会社、派遣会社など。

一つのツールに縛られず、いろいろ駆使して気になる求人を見てみましょう。 固定概念にとらわれないように、希望 条件に優先順位をつけて、

応募する企業を絞り込み ましょう。



沙 赤知与世

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで

~笑って楽しい~

認知症予防講演会

くテーマン「みんなの認知症予防ゲーム」に寄せて

講師:高林 実結樹 理事長 (NPO法人認知症予防ネット・http://www.n-yobo.net/)

日時:2015年5/30(土)10:00~12:00

場所:柏市教育福祉会館 2階大会議室 千葉県柏市柏5-8-12(柏駅から徒歩10分)

講演会費(資料代):2000円 定員:60名 対象:一般どなたでも

申込み・ご予約:みんなの認知症予防ゲーム普及の会 事務局(おこのぎ)まで

TEL: 090-9105-6901 / メール: egaonolink@gmail.com

主催: みんなの認知症予防ゲーム普及の会

後援:柏市社会福祉協議会・我孫子市社会福祉協議会・認知症予防支援団体





"Chithjizoh

(2015.5/No133)

Was.

発行日 2015/5/12

社会福祉法人生活クラブ 柏市地域生活支援 センターあいネット 〒277-0004 柏市柏下65-1 ウェルネス柏内

電話: 04(7165)8707

目次	
2014年度あいネット	1
2014年度あいネット 相談まとめ	2
要保護児童研修会	3
就労支援準備室 より	4
お知らせ	4

~ひとこと~

ゴールデンウィーク、い かがお過ごしでしたか?

私は季節はずれの大掃除 と家族サービスで、仕事が 恋しい日々でした・・・

気持ちを新たに、頑張ります!



2014年度あいネット相談まとめ Ø

2014年度あいネットの1年間の相談についてご報告します。

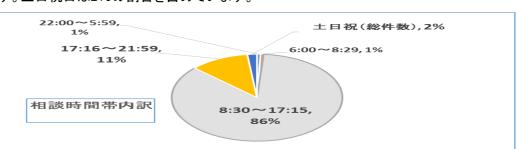
相談件数	8180	実 数	2193	新規	513 <u>5</u>	男	1270
	8180			継続	1680 3	女	923

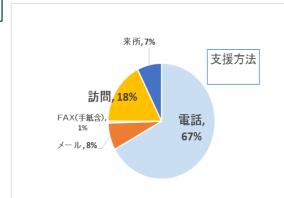
総相談件数は8180件でした。 総相談件数は8180件でした。

実数(実人数)は2193人で、うち新規の方が513人、継続の方が1680人となりました。 実数(実人数)は2193人で、うち新規の方が513人、継続の方が1680人となりました。男女比は 1270人と923人で、それぞれ58%、42%となっており男性の利用が多い結果となっています。

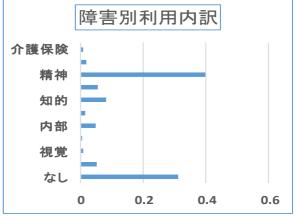
あいネットは基本的に平日8時30分~17時30分の間で来所相談や訪問、電話相談等を 受け付けていますが、電話相談は24時間対応を基本としており、土日祝日も対応していま | す。

相談時間帯内訳でみると、8時30分から17時15分の対応が一番多く、86%を占めています。土日祝日は2%の割合を占めています。





あいネットでは利用者の方からの相談に対して、様々な形で支援対応をしております。方からの相談に対して、様々な形で支援対応をしております。一番多いのは電話相談で67%を占めています。一番多いのは電話相談で67%を占めています。次いで訪問が18%となっております。



あいネットの相談は、障害のある無しに関わらず相談を受け付けておりますが、おりますが、一番多い利用者の方は精神障害をお持ちの方が一番多くを占めており、40%を占めています。

次には障害のない方が多い結果と なっており、31%を占めています。ま た、複数の障害をお持ちの方もいらっ しゃいます。

.

あいネットの利用者の年齢別内訳です。30代、40代 の方の相談が40%と一番多くなっています。 次いで50代から64歳の利用が23%と多くなっていま

いわゆる働き盛り、稼働年齢層と言われている年代 ですが、福祉サービスの中でも支援が手薄になって いる年齢層の利用が多くなっているとも言えます。こ の年齢層を対象としている福祉サービスは少ないの で、その影響もあるとも言えます。

世帯別内訳 ひとり親,14% 単身,49% それ以外,31%

23%

相談者の方の世帯別内訳は、単身者の方が49%と 相談者の半分を占めています。次いでそれ以外の世帯(両親 と子供、高齢者以外の夫婦など)が31%となっております。ひと り親の家庭も14%となっており、少なくない数の相談がありま





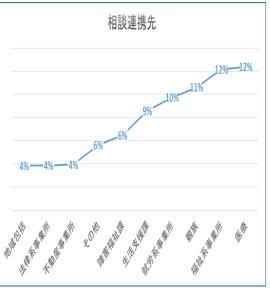


あいネットの相談内容は多岐に渡ります。昨年度の総相談領 域件数は、13,3365件でした。

たくさんの相談領域がある中で、トップ10をご紹介します。一番 件数が多いのは経済的問題(困窮含む)で13%(1688件)です。 昨年度、生活困窮者自立支援モデル事業を行っていた影響もあ ると考えられます。

次いで福祉関係相談・支援(12%:1555件)です。これは福祉 サービス資源の紹介や、サービス利用へのつなぎ、福祉関係事 業者等との連携支援といった事が中心となっています。3番目に 傾聴(11%:1414件)となっています。これは主に精神障害のある 方を中心に、話を聞いてほしいといった電話相談が主な支援と なっています。4番目に仕事(探し・悩み)関係(7%:992件)となっ ており、求職や職場についての悩みや相談が主な支援内容で す。同じく昨年度始まった生活困窮者自立支援事業の中で就労 準備支援を始めたことが影響をしていると思われます。

医療に関する問題や、同居している家族との関係の問題、生 活困窮に伴う住居に関する相談などが増えてきています。



相談者の方の相談連携先は多岐に渡りますが、一番多くなっているの が医療機関になります。これは医療に関する相談などに伴って多くなっ ている傾向にあります。次いで福祉系事業所が多くなっています。これ は福祉サービス相談支援、連携に伴って多くなっています。親族の方も 連携先や、相談先として数が多くなっています。

仕事関係の相談の増加に伴い、就労系事業所への相談・連携が多く なっています。

以上で、あいネットの2014年度の統計の傾向としては、例年通り、精神 障害をお持ちの方、単身の方、30代、40代の方、経済的問題を抱えた 方が一番多いという結果となっています。

この層を対象としている福祉サービスは少ないのもありますが、昨年度 より始まり、今年度より正式に事業開始となった生活困窮者自立支援法 の影響もあると思います。

あいネットは今後も生活困窮者および市民の方の福祉サービス相談に より対処できるよう努めていきたいと思います。

(2015.5/No.133)

要保護児童研修会 2015年度 ⑥



4月23日にウェルネス柏4F研修室で「要保護児童研修会」が開催されました。

「養育上の困難さを持つ親への気づきとかかわり」と題して徳永家族問題相談室の徳永雅子様より 講演がありました。

く虐待を予防するポイント>

保健の役割:妊娠届出時の面接とスクリーニングで早期発見・早期対応がポイント。リスク要因を 複数抱えた方に対してのスクリーニングが大切。望まれない妊娠もある。

医療の役割:ひとり親、10代の妊婦、アルコールやDV等のありそうな妊産婦を早めに保健セン ターに連絡入れて支援体制を作る。

児童福祉の役割:特定妊婦を早期に発見する。

虐待をいかに発見し、予防するかは、妊娠時の「教育」が大切。今の親は 兄弟が少なくて赤ちゃんがどんなものか触れる機会がない。また、最近の親 は行政が訪問することをあまり望まない為、乳児全戸訪問や新生児訪問をし ても、なかなか会えない事が多い。時に踏み込んで訪問することも大切であ り、相談機関や援助を求めることが大切である事を知ってもらう。



<人生を決定づける最初の33ヶ月>

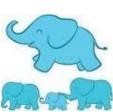
人生を決定づける最初の33か月の期間に親が子どもに虐待や放置等ストレスを与えると子どもの 脳の発達を阻害してしまう。親が子どもを抱っこして声をかける事(反応してあげる事)が大切 で、それが子どもの感情や情緒を育てる事になる。同時に、母は産後うつ病の時期で もある。親の不安が強い時期に支援者がアプローチをすることが大切である。産後う つ病の多くは軽度が多く、医療が必要なのは1~2割程度。支援者が関わる事で解消さ れることも少なくない。



くこどもを叩きたくなる時>

親がしつけの為、育児ストレスで子どもを叩く事は良くない。子どもを叱る事と、怒る事は別だ と認識する。親は「完璧な子育ではない」と認識し、適当さも必要であり、たまには子どもから離 れて自分の好きな事をする時間も必要。

「子どもは親の所有物ではない」。虐待が起こるのは、親の思うとおりに子どもを 支配できない時である。親自身の持つ育てられ方、配偶者との関係等様々な要因が ある。また、子どもにも育てづらい子どもいて、様々な要素が絡んで虐待が起き る。虐待は「いつでも」「どこでも」「どんな人にも」起こる。特別な家庭ではな く、「普通の家庭」で起こる。



あいネットの相談の中でも、親が子どもの養育が出来ず、家庭環境が原因で不登校やひきこもり になっているという相談が来る事があります。親が「一人で抱えなくても良い」「完璧でなくても 良い」と思えるように、出来るだけ早期に支援者が親と関わる事が大切なのだと感じました。

